

首都直下地震における東京都の問題意識(広域避難関連)と今後の取組

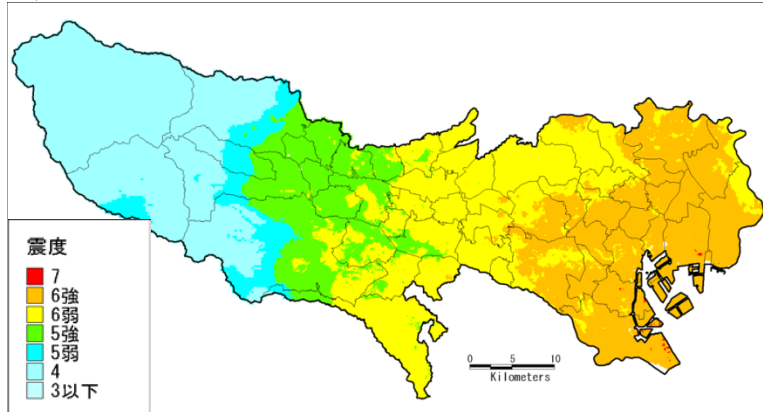
平成29年2月1日
東京都総務局

H24 東京都防災会議公表被害想定

■想定条件 ⇒ 最大被害が予想される条件

震源：東京湾北部
マグニチュード：7.3
時期：冬の夕方18時
風速：8m/秒

■震度分布 ⇒ 震度6強の地域が広範囲に



■避難者数

⇒ 建物被害等に伴い約340万人の避難者が発生

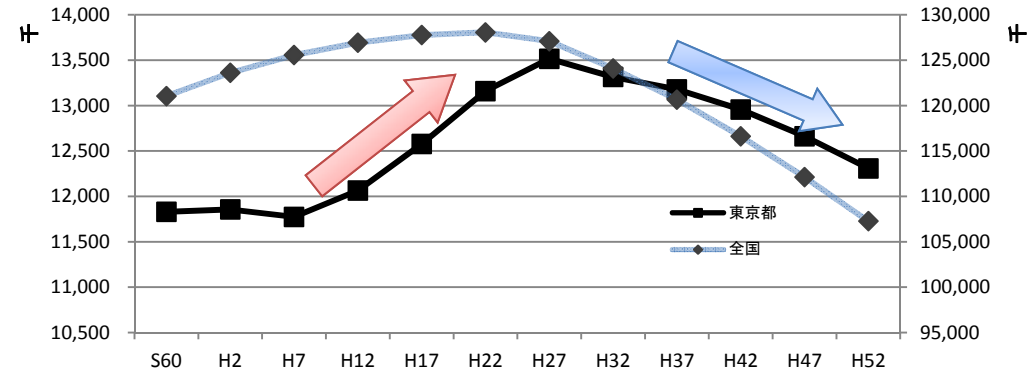
区分	人数
避難人口	3,385,487
避難生活者数	2,200,566
疎開者人口	1,184,921

○4割の都民が避難者となり、
○1割の都民が親戚・知人宅等に疎開

東京都の現況

■ 東京都の人口推移と将来推計

⇒ これまで人口増加傾向にあった東京でも、今後、人口減少の局面

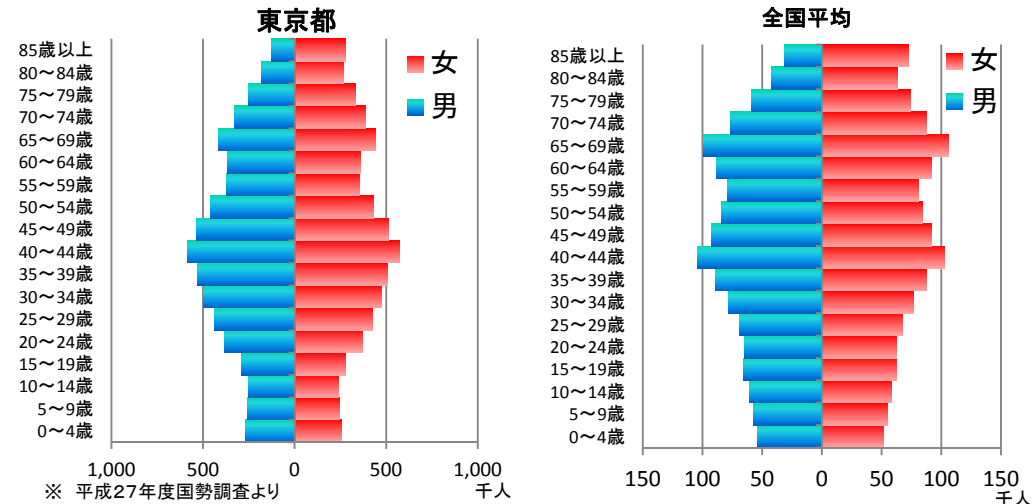


※1 S60-H27:国勢調査より

※2 H32-H52:国立社会保障・人口問題研究所将来推計人口・出生中位(死亡中位)推計より

■ 年齢構成

⇒ 少子高齢化が進んではいるが、依然として生産年齢人口が中心



問題意識と今後の取組

- 避難所以外に避難する疎開者等の動向を行政は把握できるのか。
 - ・ 高齢者はどのように行動するのか。
 - ・ 東京の経済を支える労働力はどのように行動するのか。

復興に向けたまちづくり(住宅再建等)には重要な要素
過去の災害等における避難者等の動向や
施策展開実績を調査・分析